

請求の範囲

- [請求項1] 板状のブランク材のアニール処理に用いられ、前記ブランク材を両側から挟むように積層される複数の板材のうちの1つであって、
少なくとも一方の主表面が前記ブランク材と接する一对の主表面を有し、
前記主表面に開口し、前記板材を貫通する1又は複数の貫通孔を備える、ことを特徴とするアニール処理用板材。
- [請求項2] 前記主表面は、積層された前記板材と前記ブランク材との間に空気が流れ込むよう調整された算術平均粗さを有している、請求項1に記載のアニール処理用板材。
- [請求項3] 前記板材の主表面、及び、当該主表面と接する前記ブランク材の主表面の算術平均粗さの合計が0.2 μm 以上である、請求項1又は2に記載のアニール処理用板材。
- [請求項4] 前記板材の主表面の算術平均粗さは、当該主表面と接する前記ブランク材の主表面の算術平均粗さより大きい、請求項1から3のいずれか1項に記載のアニール処理用板材。
- [請求項5] 前記板材の主表面の算術平均粗さは、0.2～1.0 μm である、請求項1から4のいずれか1項に記載のアニール処理用板材。
- [請求項6] 前記貫通孔の少なくとも1つは、当該少なくとも1つの貫通孔を囲む前記板材の縁が前記ブランク材の主表面に当接するよう前記板材の主表面に開口している、請求項1から5のいずれか1項に記載のアニール処理用板材。
- [請求項7] 前記板材の主表面に開口した前記貫通孔の形状は円形状であり、
前記貫通孔の直径は1～6 mmである、請求項1から6のいずれか1項に記載のアニール処理用板材。
- [請求項8] 前記貫通孔は、複数設けられ、前記板材の主表面内に分散して開口している、請求項1から7のいずれか1項に記載のアニール処理用板材。

- [請求項9] 複数の前記貫通孔は、前記板材の主表面を面積が等しい複数の領域に分けたとき、前記領域のそれぞれに同じ数で配置される、請求項8に記載のアニール処理用板材。
- [請求項10] 前記ブランク材には、円孔が形成される位置が設定されており、前記貫通孔は、前記板材の主表面のうち、前記位置が設定されたブランク材の部分と接する領域に開口している、請求項1から9のいずれか1項に記載のアニール処理用板材。
- [請求項11] 前記貫通孔を囲む前記板材の側壁は、前記板材の主表面と平行な方向に沿った前記貫通孔の断面積が前記板材の主表面に近づくに連れて大きくなるよう面取りされている、請求項1から10のいずれか1項に記載のアニール処理用板材。
- [請求項12] 板状のブランク材のアニール処理に用いられ、前記ブランク材を両側から挟むように積層される複数の板材のうちの1つの板材の製造方法であって、
当該板材は、
少なくとも一方の主表面が前記ブランク材と接する一対の主表面を有し、
前記主表面に開口し、当該板材を貫通する1又は複数の貫通孔を備え、
前記製造方法は、成形用型内に充填された当該板材の原料粉体を成形する成形処理を備え、
前記成形用型は、当該板材に前記貫通孔が形成されるよう前記成形用型の内壁面から突出する突出部を有している、ことを特徴とするアニール処理用板材の製造方法。
- [請求項13] 基板の製造方法であって、
請求項1から11のいずれか1項に記載のアニール処理用板材あるいは請求項12に記載の製造方法により製造されたアニール処理用板材の少なくとも2つの板材を、板状のブランク材を両側から挟むよう

に積層した積層体を加熱し、前記ブランク材をアニールするアニール処理を備える、ことを特徴とする基板の製造方法。